

# 山ノ内町立 山ノ内中学校 学校だより

～学校評価 保護者アンケートの結果から～

平成 25 年 3 月 15 日

## [山ノ内中学校からのお知らせ]

先日は、体罰に関するアンケート調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。先ごろ、県全体の集計結果が発表されました。頂いたご意見につきましては、慎重に詳細な状況の把握に努めている所です。本校の調査結果は、多くの保護者の皆様がお集まりになる機会（基本的にはPTA総会）にて、御報告をしたいと考えています。いずれにしても、これを機に一層の体罰と疑われるような指導がないよう徹底を図ってまいりたいと思います。

本校の今年度の目標として、大きく2つの柱を掲げていました。一つ目は「人間関係や学習、部活等の疲労や悩みで心が不調になっての欠席」の改善です。この点での改善の様子につきましては、前回の学校便りにて欠席率をお示ししながら、その一端をお伝えしました。二つ目は、学力の向上です。この点につき結果をお知らせしたいと思います。

本校では、今年度 NRT というテストを全学年 5 教科にわたって 4 月に実施しました（1年生は英語を除く 4 教科）。3 学期に入り、国・数・英の 3 科目の基本的内容について抜粋し、定着の様子を確認するために再テストを行いました。その結果が右のような表になりました。3 学期の実施に当たっては、テスト勉強などという特別な準備もせず、日常的に必要な基本的な力がどの程度定着しているかを見ました。この表の結果から、30 人規模学級編制の成果として、一定の向上があったと考えます。

	国語	数学	英語
1 年	9%	24%	
2 年	14%	10%	4%

しかし、教科により、教える先生により分かりやすさに違いがあるというご指摘も頂いています。もちろん、私たちの授業が十分なものは決して考えておりません。更に、よりよい授業を目指していきたいと思えます。また、テストで確認した基本的な知識技能を定着させていくためには、生徒自ら日々の課題を確実にこなしていくことも必要になります。そのためには、やはり学校と保護者の皆様との連携が必要になってきます。今後ともよろしくお願い致します。

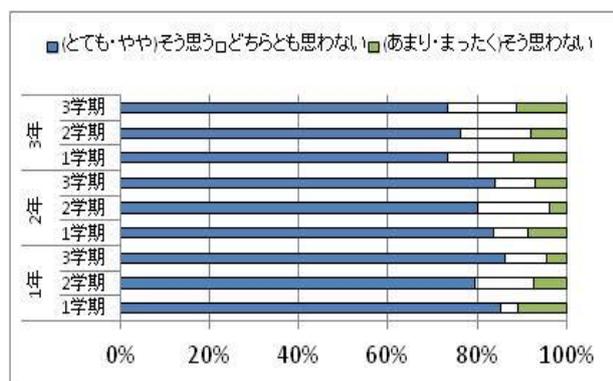
## [アンケート、ご協力ありがとうございました。]

今年一年間、3 回にわたるアンケートにご協力を頂きまして、ありがとうございました。中には、「このアンケートに意味があるのか？」というご指摘も頂きました。本校では、学習面から生活面にかけて、保護者の皆様・生徒たちの受け止めの全体像を明らかにし、課題を決め出し、対策を立てるという手順で改善を図っていこうと考えています。十分な取り組みとは言えないかもしれませんが、この間学校便りにてその一端をご紹介してきました。

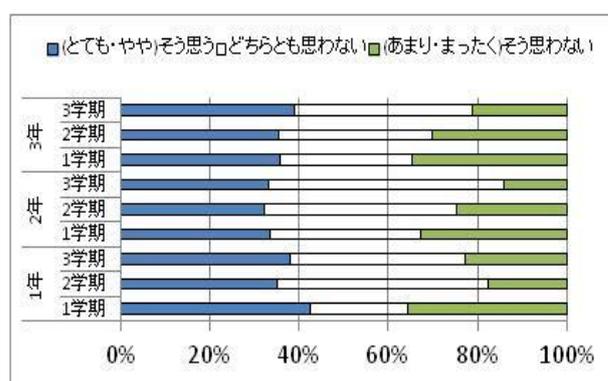
今年度のアンケートでは、どちらか判断しかねる形で「どちらとも思わない」を選択される割合が多数になった質問項目もありました。来年度は、この選択肢をはずし、傾向がより明らかになるようなアンケートにて、現状を分析するようにしていきたいと考えています。今後とも、ご協力をお願い致します。

## [3 回のアンケートからの比較グラフ]

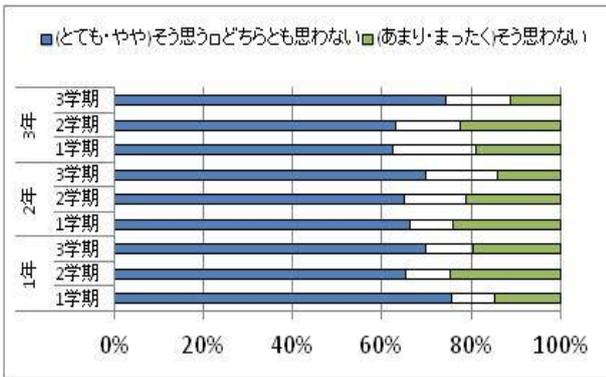
問 1 : 喜んで中学校へ行っている。



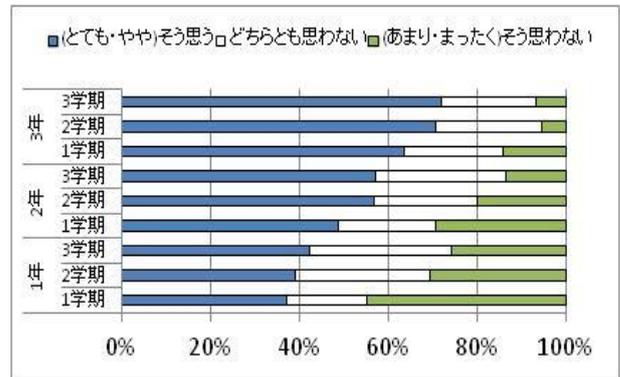
問 2 : 学校の授業が分かり易いと感じている。



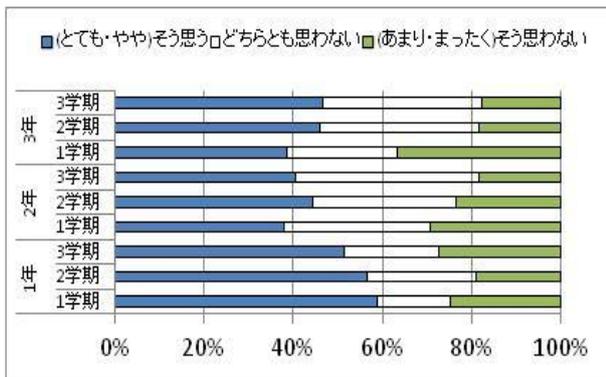
**問3：毎日家庭学習に取り組んでいる。**



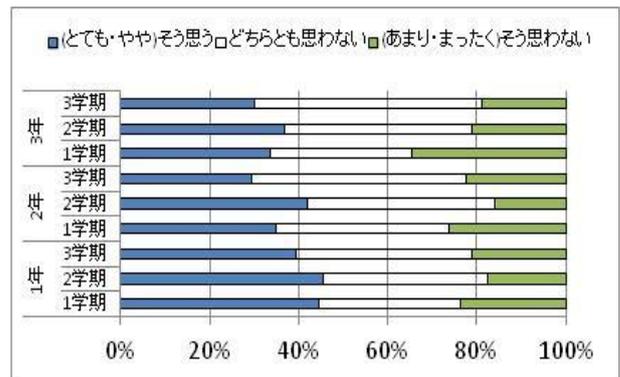
**問4：将来のこと、進路などについてよく話を  
する。**



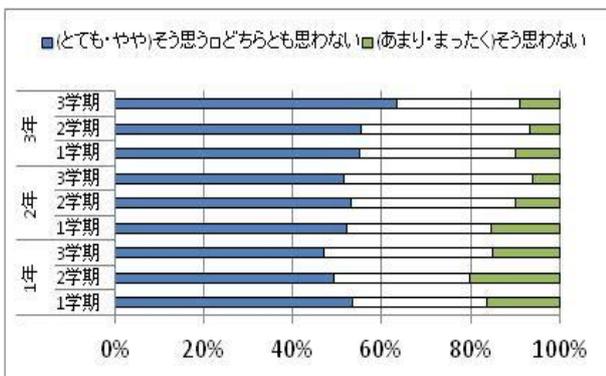
**問5：生徒は、挨拶がきちんとできる。**



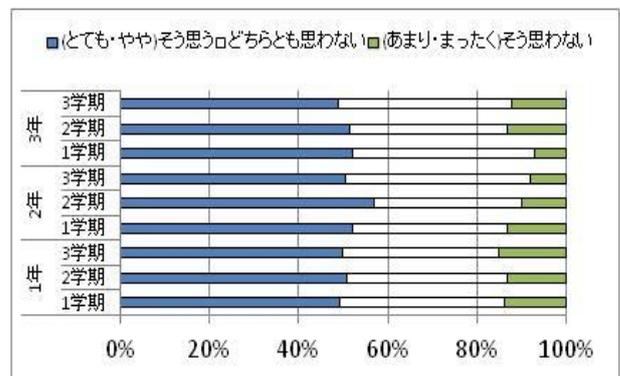
**問6：生徒は、きまりやマナーを守ることが  
できる。**



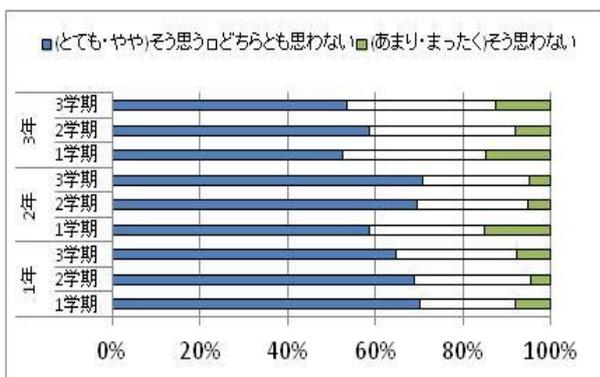
**問7：職員は、保護者の相談に親身になって  
考えてくれる。**



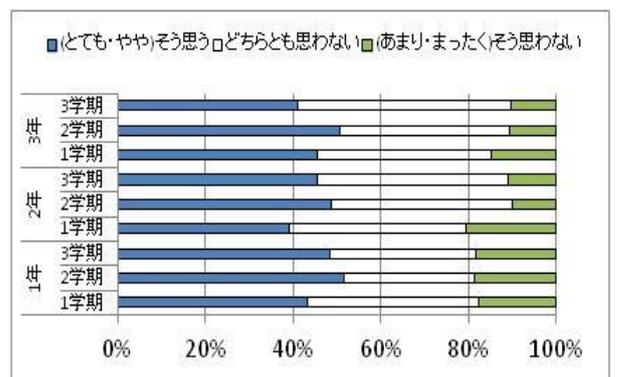
**問8：学校は、安全面で十分に配慮している。  
(施設面・安全教育等)**



**問9：各種のお便り等で中学校や生徒の様子  
がよく分かる。**



**問10：保護者へ教育の方針を分かりやすく伝  
えている。**



紙数の関係から、全ての項目に関してのコメントを差し控えさせていただきました。特徴の見えた所について、触れていきたいと思えます。

### 1 保護者の皆様と生徒との意識のずれが見られた項目

生徒アンケートの結果は膨大なため、ここに掲載していませんが、生徒の意識と異なっている点について触れたいと思えます。その項目は、「挨拶」と「きまりやマナー」の2項目です。「そう思う」割合が、それぞれ保護者は、45%、40%弱であるのに対して、生徒は60%、70%強となっています。この原因は、保護者の皆様は複数の生徒との挨拶の場面や入ってくる情報から全体を予想しながら回答し、生徒は自分自身のことを元に答えている結果と考えます。やはり、生徒たちの視野を広げるという意味で、学校全体に目を向ける意識を育てていかななくてはならないと考えます。

### 2 将来・進路（キャリア教育）に関わって

将来や進路に関する項目は、1年間の流れが大きく働いていると考えます。1,2年生の職場見学・体験、そして、3年生の進路選択。やはり、学校は「学年だより」を通して、様々な行事等の取り組みの目的を家庭に発信し、家庭ではそれを話題にいただき生徒の意識を喚起していくことを目指したいと考えます。

### 3 喜んで学校へ行っている

学校は、基本的に「面倒だなあ」「できるか不安」と感じる学習や学級活動、生徒会活動、専門部活動など様々な取り組みに対して、それを克服し、その成長の喜びを体験する場と考えています。このことによって「喜んで学校に行く」気持ちが育ち、その繰り返しにより、心も体も成長していくと考えます。生徒の心のあり様は様々で、目の前にある克服する課題を投げ出してしまふ生徒も少なからずいます。そんなときに、投げ出すことなく挑戦していく生徒を育てたいと考えています。そして、このようにしてこの値を一步でも前進させたいと考えます。

## **【個別にいただいたご意見について】**

**一部表現を変えさせて頂いているところがあります。**

### **【学校職員に個別に頂いたご意見に対して】**

生徒への声かけの場面での不適切な言葉、授業の分かりやすさが不十分であるというご指摘、生徒同士での諍いに対しての職員の対応のあり方、職員の挨拶に対する姿勢等のご指摘を頂きました。原文は職員に示し、一層の向上と心配りを行ってまいります。ご意見に対する回答としては、以下のように考えております。

本校職員の日々の授業、挨拶の指導、生徒指導、部活指導など様々な取り組みに対して、具体的にご指摘を頂きました。教科指導では、生徒の実態を丁寧に見とり、一人ひとりに対応していくところに十分でない面があります。頂いたご指摘をより一層心にとどめ、よりよい授業づくりに心がけてまいりますと思えます。併せて、日々の授業で「困った」「わからない」というところが出てきましたら、遠慮なく教科担任、学級担任に声をかけようとお子さんに伝えていただきたいと思います。テスト前には、学習相談日が設定されていますので、こちらでも大いに活用させてください。

生徒との関わりの中で、一部職員の挨拶に対する姿勢の不十分さ、生徒に不信感を与えてしまう対応のご指摘等、全職員で確認しています。今後ともご指導、ご協力をお願い致します。

### **【あいさつについて】**

- 山ノ内中学校は、だんだんと挨拶がだめになってきているように思う。姉たちが中学に通っていた時は参観日とかに学校に行くと、生徒たちから元気よく「こんにちは」と声をかけてもらえたが、今は声もしないし、そのまま通り過ぎるか、顔を知っていればべこっと頭を下げるくらいでとても残念です。それと、部活の中でもきちんと挨拶ができていないようですね。2年生の先輩にあいさつをしても無視されるという声が聞かれます。とても残念です。
- 挨拶がきちんとできるの件についてですが、1年生はしっかりとできていますが、2,3年生がよくできておらず、入試の時の面接で困るのではと思いました。
- 「挨拶がきちんとできる」について、自分から挨拶をしてくれる生徒さんもいますが、こちらが挨拶をしても返してくれない生徒さんもいます。
- 生徒が挨拶できなくてびっくりしています。数年前は、学校外で知らない生徒さんでもきちんと挨拶ができました。
- 部活動をしている子は、比較的よく挨拶をしてくれていると思えます。職場でも、挨拶のできない高校生、大学生のバイトの子たちを見かけます。将来のためにも挨拶が基本です。人としての基本ができる子どもたちになってほしいです。先生方も是非大きな声で挨拶をお願いします。
- 1年生の先生や先輩、地域の方への挨拶がなっていないと思えます。最初のうちは、入学したばかりで仕方ないと思っていましたが、時間もたつて学校生活に慣れてきたと思えます。大きな声であいさつしてほしいと思えます。
- 挨拶についてですが、年年挨拶をしてくれる生徒が少なくなっているように思えます。大きな声で、挨拶をし

てくれる生徒もいます。

- ・以前は、授業参観等で学校へ行くと、ほとんどの生徒さんが挨拶をしてくれましたが、最近1～2年生はあまり聞いたことがなく、とても残念に思います。また、下校時特に交通マナーが悪いように思います。
- ・部活の迎えでの挨拶もあつたり、なかったりで、3年生はよいと思うが、1,2年生は挨拶ができていないと思います。(親にも先輩にもできない)

これまでの指導の様子としては、日常的な集会等での挨拶の場面で事前に声かけをしたり、不十分な時はやり直しをしたりして、挨拶の意識付けを行ってきました。また、職員一人ひとり、日常的な場面での挨拶を意識して生徒に接しています。(職員の意思統一は?という疑問の声を頂きましたが…)

廊下等での挨拶で返事が返ってくる割合は、6～7割ほどでしょうか。決して十分な状況ではないという認識を持っています。それとともに、日常廊下で会ったときに、生徒を止めて「今の挨拶は…」ということも如何なものかと考える面もあります。来年度は、様々な場面での挨拶の意識付けを図っていくことを取り組んでいきたいと考えています。

### 【生徒指導…不要物の持ち込みについて】

- ・子どもの話によると、学年が進むにつれて不要品を学校へ持っていったる生徒が多いようです。
- ・「きまりやマナーを守る」については、一部守れない生徒さんがいるということで、全体としてはよいのかなと感じます。
- ・色々ありますが、校則は守りましょう。買い食い、不要物 etc…。そのために、何が大切なのか、考えたいですね。例外を認めた時点で、校則ではなくなりますよね。
- ・「きまりやマナーを守って」について、不要物を持って登校している子が多くいる様子、部活停止になったり、同じことの繰り返し、本人も親も反省の意識はないのか、疑問に思います。
- ・きまりやマナーを守るについて、守ろうとしている人と平気でやぶって反省のない子の両極端が気になります。家庭教育の範囲だと思います。
- ・帰りのバスの中で、ローソンで買ったものを食べているのを見かけました。携帯電話も使っていました。学校の許可をもらっているのでしょうか。

前回の学校便りでも触れましたが、その都度指導を行い、その際以下のような視点で指導を行っています。

- ・学校という場は、自分の課題を克服し力をつけていくとともに、その達成感を今後の力として自分を成長させる場であること。
- ・大人も含めて、人は誘惑に弱いものでその誘惑に流されないためにルールを持っていること。

このような視点で、学校生活を充実させ「できた」「わかった」という喜びを体験することを通して、安易に不要物を持ちこみ楽な方向に流れる意識を払拭していきたいと考えています。そのためにも、環境は大切で、保護者の皆様にも、子どもたちの持ち物に気を配って頂きたいと思います。2学期には、貴重な情報をお寄せいただきありがとうございました。

### 【生徒指導…個別の事例から】

- ・学校や学校帰りに不適切な行動をしている生徒の話をよく聞きます。家庭にも問題はありますが、子どもを預けている以上心配になります。一部の生徒のせいで、進学にも影響があると聞きます。その辺は、どうお考えなのでしょうか。アンケートを何度もしていますが、他に大切なことがあると思います。
- ・時代もあると思いますが、「無邪気」というものが感じられない。これをやらないと高校に受からない、これをしちゃうと評定が落ちる、次へのチャレンジがないと思う。
- ・山ノ内町は地域性もあって、多様な家庭の子どもたちが多くいます。そのことが原因なのか、本来避けうるならば避けたい進路選択をする生徒が多く感じられます。また、そんな子どもたちが昼間からふらふらしている光景を目にします。これを改善していくために、小学校から課題にしていけるような体制はあるのでしょうか。教育委員会は、どんな風な方針を持っているのでしょうか?町の小学校の統合が現在問題になっていて、話し合いがもたれています。この機会に、進路が危うい中学生を救うには小学校からどうしていけばいいのかを話し合ってみることもいいのではないかと思います。小学校が統合するのであれば、小中一貫の学校を考えてみたり…とか。町の子どものレベルが上がれば、いつかは町のためになると思います。統合問題に揺れている今が、あるいはチャンスなのかも…。

「一部の生徒のせいで進学に…」は、どのような場面を想定されているのでしょうか。一部生徒が授業を妨害しているのであれば大問題ですが、現在そのようなことはないと考えています。また、本校で起こった生徒指導上の問題が、全く関わりのない生徒の進路に影響を及ぼすのではないかというお考えでしたら、決してそのようなことはありませんのでご安心ください。生徒が願う進路の実現は、一人一人の努力と成果の問題です。

多様な子どもたちが学校生活を送っています。どの子も前向きに、意欲的に学習し、自分の将来を大切にしていけることを願っています。「他に大切なこと」は、この文面からすると、生徒指導上の問題を一切なくすというご指摘と思われます。もちろん、それを目指していますが、中学校3年間の中で独立心(別の言い方をすると、保護者、学校の指導がなかなか通りにくくなる状態の心理)の育った生徒達

には、一律の指導は通用しない所が現実です。強制は、昨今の状況で難しいものでありますし、本来の教育という視点からは、離れたものになります。

「小学校から課題にして」について、近年、小中高を通してキャリア教育の充実が進められています。中学校では、自分の適性を知り、職業の特性を知り、自分の将来を考えることを通して次の段階を選択し、実現のために努力する心と行動を起こしていくことをキャリア教育の目標としており、高校進学も就職もその1ステップと考えています。このお便りは、教育委員会様にもお届けしています。山ノ内の小中学校の今後のあり方に対しての貴重なご意見としてお伝えしたいと思います。キャリア教育の充実は、先ほど述べましたように保護者の皆様のご理解とご協力がとても大切になります。学校と保護者の皆様と共に、生徒たちに「自分はどんな人間」で「こんなことが好き」で「将来こんな大人になりたい」と思い、そのために「これをがんばる」という気持ちを育てていきたいと考えています。

### 【生徒指導…全般】

- ・スクールカウンセリングは、生徒が自主的に相談したりすることが多いけれど、親が声をかけても子どもはなかなか受け入れてくれないと思います。生徒一人ずつ簡単に担任の先生と面談を試みたらと考えます。不登校の生徒や、目立たないおとなしい生徒など、こういう時に話をする機会があると、何かしら防ぐことができるのでは？
- ・体罰が問題になっていますが、先生方には叱るべき時には、叱って頂きたいと思います。これからもよろしくお願い致します。
- ・部活の体罰についてニュースになっているが、過剰に反応することのない指導を望みます。
- ・3年間お世話になりました。家の子は楽しく通っていたと思いますので、不安なことはありませんでした。学級のお便りはあまり出ませんでした。特に困りませんでした。逆に大事なことは、子どもが話してくれていたと思います。親が全てを把握するのは、だんだんと難しくなっていくので、学校での先生方が目に付く行動やうわさがあった場合は、親へ知らせて頂いて、情報が共有できればいいと思います。
- ・今の山中には、特色と言えるものが見当たらない。魅力のある山中と言えない気がする。担任、またはその他の先生方に子どものことで相談した場合、その時の対応だけでなく、その後も引き続きそのことに対してのフォローを気にかけて頂きたい。勝手な話だと思うが、親は本当に未熟で子どものことがわからないことばかりになってしまう。(人の子には冷静になれても…)なので、頼みの綱は経験豊富な先生たちとなる。面倒だとは思いますが、細かい配慮(保護者に対しても)をお願いします。どうか、どうか、よろしく願います。3年間、お世話になりました。ありがとうございました。
- ・子どもに少しでも変化があったら、先生の方で様子を見てから話すのではなく、すぐ親に連絡してほしい。早ければ、早いほど親としても何かしら対処できると思います。

「生徒一人一人の面談」はとても大切なことです。問題は、この時間(一人5分、1クラス30人として、2時間30分)をどのように確保するかが難しい問題となっています。年間の中で、集中的にこのような時間を設定したり、分散して手を入れたりすることができるかどうか、今後検討していきたいと考えます。今現在は、日々の子どもの様子の見取りから心配な時の声かけ、保護者の方からの情報を基本として対応していくことになっています。常に、細心の注意を払って本校職員と連絡を取り合っていく方向でいかがでしょうか。また、生徒への指導の後の見とりはとても大切です。落ちのないように気を配りたいと思います。また、保護者の皆様からも様子を教えていただけますよう、お願い致します。

### 【安全面…登下校】

- ・狭い道の歩き方がよくない。車が中央線を越えてまでよけなくてはならない時が多々ある。学校だけに願うことではありませんが、気になることなので…。
- ・交通ルールは、よくないです。特に雪で道が狭いのに、何列も広がるのは危険で車で通るときひやひやします。部活帰りでスポーツバックで余計に幅を取っているようです。また、校門前のたまりは改善されないのが、残念です。校門前の横断歩道を何mか、ずらしたらいいと思います。とはいえ、上記はとても難しいので、せめて友だちとの待ち合わせは、校門内ですしてほしいです。あいさつは年々できなくなっていくようで、最近ほとんどしている子を見たことがありません。

この間の指導として「学校便り」のNo2に書かせていただいたご意見をそのまま生徒たちに示しました。指導の際には、全員で読み合わせを行いました。更に、冬期通学路の見直しと生徒への徹底を目指しましたが、まだまだ厳しいご指摘を頂いています。先ほども述べましたように、思春期を過ぎますと独立心が強くなります。これは、第三者の意見を受け入れにくくなるということです。そして、生徒の場合は経験不足から、自らの判断が甘くなりがちです。学校での指導の際は、しっかり受け止めることができても、しばらくすると元に戻る生徒が多いのが現状です。職員が日常的に登下校時に町内各所に立ち下校指導をすることは、困難な状況です。保護者の皆様には、多少勇気のいることかと思われませんが、不適切な歩行状況の様子を見かけましたら、その場でご指導を頂ければと思います。

下校時の校門付近の様子については、生徒指導、安全係と確認しながら出来るだけ早く対応してまいりたいと思います。

## 【部活動】

- ・テスト一週間くらい前から、部活を休みにすることはできないでしょうか。大会があるときは、仕方がないと思いますが。
- ・学校側が、部活動に力が入っていない。
- ・部活動のスケジュール予定が前月中に出ないので、予定が立たない。また、練習試合で集合時間に先生が遅れてくる。
- ・部活で顧問の先生やコーチの人などが練習などで指導していると思いますが、その指導について、保護者が口出しをするのはおかしいと思います。
- ・部活によって、Tシャツは白で無地しかいけないところもあれば、カラフルなTシャツで活動しているところもあるのはなぜ？学校のきまりで白地に無地ではないのですか？今時、白地に無地はあまり売っていないので、見つけるのに大変だったし、高額だった。
- ・スキー部の活躍素晴らしいですね。そのスキー部の大会に体育の先生が引率でいなくなり、体育の授業が自主学习になると聞きました。ストレス発散のためにも受験生が思いきり体を動かせる時間を無くさないように考えていただきたいなと思いました、

部活動のあり方には、上記のように2つのお考えが対立しています。しかし、基本的な方向は、長野県教育委員会スポーツ課より今月末に示される予定の社会体育を含めた部活動のあり方に関する答申に沿った運営でなければなりません。また、本校でも、部活動運営委員会にて本校の部活動及び社会体育のあり方が協議されてきました。いずれ出される答申を踏まえた方向を来年度お示しすることになると思います。

部活の月予定を出していない専門部につきましては、連絡体制をしっかりとできるよう部活顧問に伝えていきたいと思います。また、Tシャツの問題が出されています。基本は学校指定のものですが、着換え用として部活単位で統一されることを前提に白でないものも可能となっています。しかし、今年度実際はこの線に沿っていない生徒も見られていました。更に徹底を図っていきたいと思います。

県中、全中のスキー大会の時の自習については、出来るだけ体育の授業ができるように心がけていますが、安全面を考慮して保健になることもあります。その際は、御容赦のほどをお願い致します。

## 【便り】

- ・最近月の予定表がまったく配られていないです。配布をやめたのでしょうか。不便です。月の目標も分らないです。
- ・クラス便りをよく出してもらえるので、クラスの状況が把握でき、感謝しております。

保健だよりは、1か月に1回が基本です。学年だよりは、2週に1回が基本です。学級だよりは各担任の所で出されています。「月の予定表」とは、本校で「月暦」と称しているものと思われます。これは、全ての保護者に配布しているものではありません。おそらく担任の方で、学級独自に行っていたものと考えられます。紙類の節約も含めて、一般的には行っていません。もし必要でしたら、担任へ個別にご相談頂きたいと思います。

## 【施設整備】

- ・体育館更衣室、校庭用具置き場が古い道具の物置となっているようですが、不要なものは処分したり、他の施設で使ってもらえるものがあつたら譲ったりするなどして、更衣室として利用できないでしょうか。来校される方を誇りを持って迎えられる校舎であれば、自然と挨拶も気持ち良くてできると思います。

今年も各所の整備は進めていまして、グランド側体育館下の倉庫は、陸上・野球・ソフトボール・テニスの各部で、用具置き場として十分なスペースを確保できるようになりました。

本校で更衣室として利用できる場合は、体育館に設置されている2室と考えられます。ここにはそれほど物品が置かれているわけではありませんが、体育時に2クラスが着換えをするには、手狭であることは事実です。また、生徒も先の活動を急ぐあまり下にハーフパンツをはいた生活になっていることが多いのが現実です。着換えの場と時間を確保したいのですが、この点についてはほとんど全ての中学校で課題となっている点かと考えます。

## 【その他】

ここでは、お褒めの言葉を多く頂きました。紙数の関係で、一つ一つは省略させていただきます。

励ましのお言葉をありがとうございます。300人生徒がいれば、300通りの対応をしなければならぬのが現実であり、決して現状が十分であるとは考えていません。保護者の皆様とともによりよい方向に生徒たちが育つために、よろしくお願い致します。また、この保護者アンケートは、結果を元に、今現在の最重要課題は何であるか、どのように改善していくかを洗い出すためのものです。お手数をおかけしますが、今後ともご協力をお願い致します。